



新津東部コミ協では、災害に強い住み良い地域を作り上げるために第一段階として、各町内における「自主防災活動」の実態や課題等を共有することを主な目的とした、自主防災連絡会を立ち上げました。

平成三十年十一月十三日に第一回の会議を行い、会の会長、副会長、事務局長を選出し、その後、実態調査の実施方法等についての協議を行いました。実態調査は、調査票を各町内の自主防災組織担当者もしくは町内会長さんに配布して、各町内の活動内容等を記入して頂く方式で行いました。

その結果、自主防災組織を設立している町内が、六町内、調査時点で未結成の町内が三町内となっていました。

自主防災組織を結成されている町内では、防災訓練を各地域の実情に応じて、行政担当課等の協力を得て実施されています。

被害が想定される自然災害については、地震、水害、台風が最も多くなっていますが、草水町、滝谷町、滝谷本町では、これらに加え土砂災害、地滑り等が上げられており、地域的な相違も見られます。

調査結果を受けて開催した、第二回会議では、将来的には東部コミ協全体での検討が必要ではあるが、細長く広い地域であり、自然災害にも地域性があることから、当面は、各町内単位でそれぞれの地域に応じた自主防災活動を行っていくことが大切であるとの認識を得る事が出来ました。

平成三十年十一月十三日に第一回の会議を行い、会の会長、副会長、事務局長を選出し、その後、実態調査の実施方法等についての協議を行いました。実態調査は、調査票を各町内の自主防災組織担当者もしくは町内会長さんに配布して、各町内の活動内容等を記入して頂く方式で行いました。

その結果、自主防災組織を設立している町内が、六町内、調査時点で未結成の町内が三町内となっていました。

自主防災組織を結成されている町内では、防災訓練を各地域の実情に応じて、行政担当課等の協力を得て実施されています。

被害が想定される自然災害については、地震、水害、台風が最も多くなっていますが、草水町、滝谷町、滝谷本町では、これらに加え土砂災害、地滑り等が上げられており、地域的な相違も見られます。

東部コミ協では、災害に強い住み良い地域を作り上げるために第一段階として、各町内における「自主防災活動」の実態や課題等を共有することを主な目的とした、自主防災連絡会を立ち上げました。

平成三十年十一月十三日に第一回の会議を行い、会の会長、副会長、事務局長を選出し、その後、実態調査の実施方法等についての協議を行いました。実態調査は、調査票を各町内の自主防災組織担当者もしくは町内会長さんに配布して、各町内の活動内容等を記入して頂く方式で行いました。

その結果、自主防災組織を設立している町内が、六町内、調査時点で未結成の町内が三町内となっていました。

自主防災組織を結成されている町内では、防災訓練を各地域の実情に応じて、行政担当課等の協力を得て実施されています。

被害が想定される自然災害については、地震、水害、台風が最も多くなっていますが、草水町、滝谷町、滝谷本町では、これらに加え土砂災害、地滑り等が上げられており、地域的な相違も見られます。

東部コミ協 自主防災連絡会 自主防災活動実態調査の結果報告 総務部

そうした観点からみると他町内の取り組みの中に、自分の町内の活動を考え上で、参考となる物も多く、調査は有意義であり、また、これから、自主防災組織を設立する町内にとつても参考になると意見も出されました。

次年度はさらに情報収集を行うとともに、地域住民の防災意識を高めるための検討を行う事が確認されました。

●**自主防災連絡会 三役**

会長 林 則康
(金沢町三・四)

副会長 増田 晴男(新町)
事務局長 坂上 信(北上)
○設立済み 町内
金沢町、草水町、北上、新町、

○未設立町内
滝谷本町、滝谷、飯柳
○設立済み 町内
金沢町、草水町、北上、新町、
日室町、柄目木
○未設立町内
滝谷本町、滝谷、飯柳

■自主防災組織設立状況



●第二回 自主防災連絡会
平成31年3月5日 開催。

第10回 囲碁大会開催される

文化教養部 佐々木富雄



Aグループ	
優勝	清水 孝
準優勝	高橋 武弘
3位	後藤 和衛

Bグループ	
優勝	本間 義朗
準優勝	田村 竹男
3位	清水 正恕

12月8日(土)新津地区勤労青少年ホームを会場に第10回東部コミ協親睦「囲碁大会」を開催致しました。当日は朝からいいにくの雪模様でしたが、参加を希望された方11人全員の出席をいただきました。

A・B 2グループに分かれて優勝めざして3回戦の真剣勝負が行われました。結果、優勝はAグループ柄目木の清水孝さん、Bグループ新町の本間義朗さんに決まりました。次回はもっと多くの参加者を得て、楽しい大会になるよう努めて行きたいと思います。

- 東部コミ協は、「安全安心な地域社会づくり」「福祉活動の充実」「地域社会の交流」を当面の活動目標としています。
- 地域の古紙収集活動で、得られる交付金が、東部コミ協の貴重な活動費の一部となっています。

新津東部コミュニティ協議会 平成30年度の主な事業について

1. 一般

- 平成30年度 代議員会 平成30年4月23日 新津地区勤労青少年ホーム

議事

- ・平成29年度事業経過報告、平成29年度会計決算
- ・平成30年度活動方針(案)、平成30年度会計予算(案) 等

- 「まちづくりトークIN秋葉区」 平成30年6月23日 秋葉区役所 (主催:新潟市)

・市長説明:「2018年新潟市の取り組み」 ・区長説明:「秋葉区の取り組み」 ・意見交換

- 平成30年度秋葉区地区懇談会 平成30年7月12日 新津地区勤労青少年ホーム

*区長はじめ、各所属の所属長が参加し、東部コミ協役員等と意見交換を行った。

- ・平成30年度秋葉区主要事業について
- ・近隣にある避難所のグループ化について
- ・平成30年度秋葉区建設課主要事業について
- ・平成29年度末時点の工事要望について
- ・自治・町内会からの工事要望の進捗について
- ・基盤整備に係る方針について
- ・意見交換:地域課題、人口減少を踏まえた地域づくり

2. 専門部

■総務部

- 自転車交通安全教室 4月19日
二小1, 3年生を対象に実施。
- 東部コミ協「夏祭り」 7月22日
会場:二小体育館、児童玄関脇駐車場
参加者:子ども250名、大人 250名
- 自主防災連絡会
第1回会議 11月13日 第2回 3月5日



■文化教養部

- 第8回親睦ゴルフ大会 10月5日
会場:新津カントリークラブ 参加者:26名
- 第10回東部地区文化展 10月27日
会場:新津第二小学校会議室
(二小文化祭と同時開催)
- 第10回東部コミ協親睦囲碁大会 12月8日
会場:新津地区勤労青少年ホーム 参加者:11名

■福祉健康部

- 第10回ふれあい健康づくりの集い 6月23日
会場:新津地区勤労青少年ホーム 参加者:74名
- ミニ健康教室 7月10日
会場:新津地区勤労青少年ホーム 参加者:26名
- 第9回ふれあいウォーキングin紫雲寺記念公園
10月6日
会場:紫雲寺記念公園 参加者:156名

■児童育成部

- 子どもの遊び場 5月19日~11月10日
会場:二小体育館 他 参加者:延べ162名
- 夏休みわくわく講座 7月27日~8月24日
参加者:延べ334名



*平成31年度の事業計画は、平成31年4月22日に開催される「平成31年度代議員会」にて決定されます。
(内容は次回の「東部コミ協だより」でお知らせいたします。)

**新津東部コミ協だより
ミニ瓦版**

-平成31年3月号-

- 発行者:新津東部コミュニティ協議会
- 発行人:斎藤 龍秋
- 事務局:新潟市秋葉区新津東町1丁目5番12号
新津地区勤労青少年ホーム内
TEL・FAX 0250-23-0780
- 編集:新津東部コミュニティ協議会 総務部
- 印刷:株式会社トヨービジネス

編集後記

いよいよ平成も残り1か月弱となりました。このミニ瓦版が、お手元に届いた時には、新元号も発表されていると思います。平成19年3月11日に設立した新津東部コミュニティ協議会も、次の時代に船出をすることとなります。

新しい時代にふさわしい、住み良い地域づくりに向けて、皆様のお力をお借りしながら、一歩(たとえ半歩でも)ずつ着実に歩みを進めて行ければと願っております。

総務部 部長 渡邊和顕